

O G C ヒートルール

大洗ゴルフ倶楽部

- ・ ※暑さ指数W B G T 31℃以上でプレーヤー及びキャディに 注意喚起(こまめな水分・塩分補給、必要に応じて小休憩)
- ・ W B G T 33℃以上で原則プレー 中断
- ・ 通常営業及び競技会等プレーともにマスター室確認後支配人並びに副支配人判断で決定
(※競技時は競技委員)
- ・ プレー注意喚起及び中断の案内はキャディ無線(トランシーバー)で行う
- ・ プレー中断アナウンス時のホールは、ホールアウトまでプレーすることが出来る
- ・ 原則ホールアウト後に日陰で待機する(短時間でプレー再開になる可能性あり)
- ・ 売店・避難小屋等でも待機出来る(雷発生時同様プレーヤーの迎えをすることもある)
- ・ W B G T 33℃未満になった時点で、プレー 再開
- ・ 気温30℃以上になった日は、1.5ラウンドプレー禁止
- ・ 上記真夏日のプレー中は、コース売店で5分間の休憩
- ・ 原則1ラウンドスループレーを禁止し、昼休憩時間を各組50分程度確保
- ・ ハーフ終了時の体温チェックとアルコール飲料摂取の注意喚起
- ・ セルフメディカルチェック表及び尿カラー確認チャート用意

※暑さ指数W B G Tとは湿球黒球温度のことで、①湿度②日射・輻射熱③気温の3要素で測定される指標(W B G T 28℃以上で厳重警戒)

- ・ 熱中症等体調不良者への対応、救護については以下の通りとする

- ①熱中症を疑う症状があるプレーヤー及び従業員に対する呼びかけ
- ②返事が無かった場合、救急車を呼び涼しい場所へ移動し体を冷やし、心肺蘇生及びA E D準備
- ③返事が出来た場合、涼しい場所へ移動し体を冷やし、水分・塩分(O S - 1等)補給
- ④上記③で水分・塩分補給が自力で出来なかったり、症状が回復しない時は医療機関に搬送
- ⑤上記③で症状が良くなった場合も、十分な休息をとってからの帰宅を促す